学校番号	3017

令和２年度　英語科

教科	英語	科目	異文化理解（前期）	単位数	前１	年次	３年次
校内名称	英語 W			ユニット数	前期 1.5	必選別	必
使用教科書	英　　W： ⑦Unicorn English Expression 2（文英堂）						
副教材等	英　　W：⑧精選・英作文 300 題（日栄社） ⑨Power Stage（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＜英語W＞
Wは主に自由英作文やエッセイライティングを行うＷ１、入試（主に国公立）英作文対策を行うＷ２の２つの形態で実施する。Ｗ１ではジャーナルを使用し、授業中の決められた時間内に 50～100 語程度の英作文を行う。英語を書く前にどのように自分の意見をまとめるか、どのような構成で記載するとよいかを重点的に学ぶので、毎時間集中して授業を受けること。Ｗ２では EXERCISES B を予習課題とし、授業中に添削をする。添削はネイティブの先生も担当してくださるので、積極的に授業に参加して、様々な表現方法を学んでほしい。

２　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。	英理 ・プレゼンテーション 異文化理解 ・プレゼンテーション ・インタビューテスト	・読んだり書いたりしたことを踏まえ、自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で書くことができる。	異理 ・エッセーライティング ・定期考査	・多様な分野に関して、自然な速さで話されるスピーチ、会話、ニュースを聞き、事実関係を正確に把握することができる。 ・ある程度の長さの自然、化学、芸術、文学等の多様なテーマの会話、スピーチ、講義等において、なじみのないことでも事実関係を正確に理解することができる。	異理 ・リスニングテスト ・定期考査	・小説や自叙伝、伝記などを辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。 ・海外の新聞記事やレポート、英文で書かれた契約書などを一読して、その内容の重要度を判断し、必要に応じて読む速度や読み方を変えて、正確に読むことができる。	英理 ・リーディングテスト ・定期考査 異理 ・定期考査

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と書くことの到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「読むこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に分配し、評価します。				

４―１　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
英語Ｗ 生鮮英作文 300 題 (各単元につき約１時間)	１．基本自制 / ２．完了形 / ３．助動詞 / ４．受動態 / ５．重要動詞 / ６．不定詞 / ７．分詞 / ８．動名詞 / ９．前置詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の書いた英作文の内容について相手に伝えることが出来る。	自分の書いた内容について積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		英語表現の能力			
		１・２年時に学んだ文法事項を正しく運用することができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	今まで学んだ文法事項・表現を用いて、適切に書くことができたか。	定期テスト
		英語の理解の能力			
		モデル英作文や他者の英作文を正しく読み取ることが出来るか。	英作文に書かれた内容を正しく読み取る。	穴埋め、部分訳で正しく文を完成できたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		英語での作文の構成を正しく理解する。	段落ごとの役割を理解する。	指定された構成でパラグラフライティングができるか。	定期テスト